

SDGs 達成に向けた取組み

インフラ保全工事を通じて環境配慮と地域社会とのつながり



目的・背景

過疎化・高齢化が進む地域でのインフラ保全工事を通じて、地域・町内行事活動での人手不足問題に対し少しでもお手伝いする事で、助け合いの輪を広げたい。

また、インフラ保全工事では環境配慮型プラスト工法によるクリーンな環境維持をテーマに産業廃棄物の削減・環境配慮・リサイクルに取り組んでいます。

具体的な取組内容

令和 5 年 3 月竣工の高知県の町仁淀川橋塗替え工事の施工にあたり、工事開始前の地域関係各所へのごあいさつ回りの際、町内会の方々とお話する機会があり、お話の中で工事現場周辺での過疎化・高齢化による人手不足などのお話を受けました。少しでもお役に立てることがないか町内会の方々とお話させていただき、6月と10月に行われる河川草刈り行事と、年末

に行われる町内餅つき大会へ参加させていただき、感謝状をいただきました。また、インフラ保全工事では令和 4 年度に引き続き環境配慮型プラスト工法による施工で研削材リサイクル・産業廃棄物の大幅削減・環境配慮を掲げ、現在、宇和島市津島町で施行しています。

成果

6月と10月の草刈り、12月の餅つき大会をお手伝いさせていただきましたが、やはり町内参加者の方々が高齢の方が多く、毎年の力仕事は大変そうで少しでもお役に立てて良かったと感じました。

インフラ保全工事を通じて、単に工事をするだけでなく、やはり地域社会とのつながりを大切に、今回のような活動を続けて行くことが大切だと感じました。

